

# 六月四日

元母校教諭

## 長谷川芳貞



六月四日、私は恐悦の体で私を「囲む会」に臨んだ。帝国ホテルの「桐の間」で、私には過分の饗応であった。

教師は常に過去に対して、負い目がある。私にとって教育とは、今日の不十分を、明日に検討改善してゆく努力の過程のように思われる。従って、遠い過去になるほど、授業内容や生活指導は空疎で技術は拙劣で、悔恨と恥しさが

いつぱいで、文字通り穴があつたら入りたい思いであつた。そんな思いの私を、私が教師として初めて担任を経験した、忘れもしない、定時制の「一ノ四」の生徒が、二十数名、私にとってどのホテルの一室に招待してくれた。

私は定年に近く、招待者は五十に近い、いずれもそれぞれ領域で指導的立場にある、

立派な社会人であり、家庭人である。  
二十九年ぶりの再会に、私は一人一人に、かつての高校時代の原型と、その後の人生の証しを、まああたり確認して、深い感動の中で、こみあげる熱いものに浸つた。

かつての同僚佐藤先生も、遅れて北原先生も、同席して下さつた。

三月、私は三十四年間の教職生活を辞して、自適の生活に入った。

あと二年ほど、勤めたい気もあつたが、自分自身やりたことへの欲求に決断して、長い間の唯一の勤務校(全定)三口を云つた。

「桐の間」は、その退職を記念しての、かつての教子たちの「はなむけ」であつた。

「桐の間の集団の一人は「私」たちはみんな、先生に似てロマンチストなんです。また一人は重慶障害者野富弘さんと私の詩画集「風の旅」を、その私に手渡した。

二次会は、独逸料理の歌声レストランで、その熱い歓待ぶりに、私は自分の不甲斐なさか、喚かれるばかりであつた。最後はお客さんまで一緒に「仰げば尊し」を唱和して下さつた。

この日は私にとって、生涯最良の日であつた。この「はなむけ」を最初に電話して下さつたのは、今の同窓会の会長で、「石口技研」の社長でもある石田弘君である。石田君とは、実に楽しい後日譚があるがそれに秘中の秘である。

### 母校旧職員 の動向

○杉村親一先生(第十一代校長・昭和54年〜57年)  
本年三月都立白鷗高校校長を退職され、現在私立津田女子高次校長をされています。

○小沢正義先生(第三代教頭・昭和43年〜57年)  
本年三月都立八潮高校校長を退職され、現在私立順天高校校長をされています。

○董原昌二先生(昭和39年〜42年)  
本年四月都立高島高校から都立京橋高校教頭に栄転されました。

○菊地義先生(昭和39年〜45年)  
本年四月都立白野台高校から都立小平西高校教頭に栄転されました。

○山村功先生(英語担当・昭和49年〜58年)  
本年四月都立南多摩高校(定)に転任されました。

○長谷川芳貞先生(国語担当・昭和25年〜32年)以後全日制へ転任。

本年三月退職され、目下の処五年計画で、歴史上の人物の「墳墓録」の編纂にとり組んでおられます。

○上掲写真は長谷川先生を囲む会にご参集下さつた29卒4組の有志の面々です。

佐藤先生、北原先生がたのお顔も見えます。於帝国ホテル「桐の間」

### 北海道から 記念式に 出席して 和田きん子

17年卒(旧木田)

「ともがきをいただいたて早や一年にもなりました。わすかばかりでお恥しいのですが運営資金の一部にしてください。

昭和五十四年五十周年記念同窓会には卒業以来はじめて母校を訪れました。

「五十周年だもの五十年に一回しかないのだから行ってこい」という夫(五十五年死亡)にはげまされて出かけてきました。

田町の駅に降りても浦島太郎のように何もわからずタクシに乗りました。田舎者と思われたのか何か遠回りをして母校の坂の上の方から下つて校門の前に降りました。すっかり立派になつてびびり、沈丁花の校門も頭に描いていたはずなのに……そして式典に出席して又びびり。あのなつかしい校歌を思い出しては口ずさんでいたのに変わつてしまつて、考えてみると今の三田高校は男女共学でものね。

なつかしい顔々何十年振りになつた。本場に今浦島でし、バザーで買った黒いビロードのポーチ、そして良が向いて合っている刺しゅうがしてあるフキン、今でも大事に使っています。長男の嫁はく

「母が三田高校の同窓会に来たんですよ」といつたら、みんながびびりしてましたよ、三田高校って名門校なんです。とでもうれしかったです。いつも東京をなつかしがりお友達から手紙が来たといえは都内の地図をひろげて見、息子が引越したといえはまた地図をひろげて見た夫。私に「行ってこい」と言ってくれ、た夫に「晩中話しても、話しても聞きなかつたみやげ話、念願の家を新築したので出来上る前に死んでしまった夫。今は一人ぐらしにもなれて仕事の暇をみては好きな事をして楽しんでおります。もう少し働いて東京にいる息子の処と北海道を往つたり来たりしてのんきにくらせるようになったら……十一月二十三日鹿女子短大

●昭和五十年  
東京理科大学、東洋大学、日本大学、東洋大短大、共立女子短大、東海大医療技術短大

●昭和五十一年  
明治学院大学、大正大学、中央大学、国学院大学、徳山大学、上野学院大学、淑徳大学、敬愛短大、日本女子体育短大

●昭和五十二年  
明治学院大学、芝浦工業大学、慶応大学

●昭和五十三年  
明治学院大学、上武大学、東京電機大学、慶応大学、鈴鹿女子短大

●昭和五十四年  
専修大学、東海大学、名城大学、関東学院大学、工学院大学、日本大学、明治学院大学、東京理科大学

●昭和五十五年  
明治学院大学(二名)、文化女子大学、青山学院大学

●昭和五十六年  
東洋大学、明治学院大学、東京理科大学

●昭和五十七年  
駒沢大学、松本短大、神奈川大学、明治学院大学

●昭和五十八年  
日本女子体育短大、立正大学、産業能率短大、明治学院大学、関東学院大学、独協大学、東洋大学、関東学院短大

### 卒業生の 進学状況

本校卒業生には好學心に燃え向上心に奮む者が多く、毎年多数の進学希望者があり、大卒・短大に進んでいる。かつては卒業後現役であるいは、二浪して毎年国立公立大学に進む者もいたのであるが、ここ数年は私立大学志向が圧倒的である。

卒業生の進路は多岐にわたつており、専門学校で技能を身につける者、高等看護学校

## 家庭用・業務用 クレンリネス用品専門商社

有限会社

### 港屋佐藤國平商店

代表取締役 佐藤道雄 (29年卒)

東京都江東区佐賀2丁目7番12号 TEL 03(643)1071(代)  
名古屋市東区大幸町9-49 TEL 052(711)8253

- 病院用経管チューブ食
- 濃厚流動食等特別配合食品
- Food Supplement製造卸

## サンコーパック株式会社

代表取締役 川上忠重 (昭和30年卒)

東京都新宿区四谷1丁目3番地  
〒160 TEL 03-357-7730(代)